

箱根園の桜（オオシマザクラ）、畑宿の夫婦桜など

桜の季節は箱根でも一年で最も美しい季節の一つです。通常は3月下旬から4月半ばに訪れ、一帯で何種類かの異なる桜の木が一斉に花を咲かせます。特に印象的な花見スポットは宮城野の早川沿いで、川に沿って植えられた100本以上の木が夜には提灯で照らされ、お祭り気分を盛り上げます。

芦ノ湖岸の箱根園水族館屋外の、樹齢100年近い巨大な大島桜は寄り道をしてでも見る価値があります。薄いピンクと白の花を咲かせるのですが、元々は箱根の南にある伊豆半島から運ばれて隣り合わせに植えられた一群の若木でした。この土地の気候が合ったのか、時を経てくっついて一本の木になり、今の雄大な姿になったのです。

畑宿には、互いに相手に枝を伸ばし合っているかのような2本の山桜（野生の桜）の木があります。この「抱擁」するような姿から、「夫婦桜」の名がつけられました。この幸せな夫婦は地元の住民や企業の支援で、年間を通じて健康を保

つよう守られています。そして、毎年4月にはお返しに鮮やかなピンクの花を咲かせてくれます。